

1. われにくなさぐりさはめいととよきわ  
 2. 死主ののきがずをはうけれ  
 3. 「われののきがずをはうけれ  
 4. 「われののきがずをはうけれ

よわいわろがだかこたかもびびれとをじわにあのれわた終はがうわおたらもみ  
 めばうを木わかこ

のがぎと上着いにくなにかべきくけきやわらみされれなしはしとき引かはにきみあみよ  
 りちせん小なかお

ひがくおつじかあじうたまなじりきるかたみわにまこがよいと主りしばてをぞ!  
 なわたあ



あなたはほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。 黙示 5:9, 10  
わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。 ヨハネ 12:32

5

わが罪ゆえにほふられて  
ちしおなが  
血潮流す小羊  
おお主よそはなれなるとは  
いかでか<sup>おも</sup>想いえしや！  
わが身も心も<sup>み こころ</sup>  
また とわ  
全く永久にながものなれ！

6

われいかでかくも<sup>とぼ</sup>乏しき  
おのが力に頼らん？<sup>ちから たよ</sup>  
わが信仰は天地の<sup>あめつち</sup>  
創り主なる神の<sup>つく</sup>  
ぜん<sup>ぜん</sup>のう<sup>う</sup>みて<sup>みて</sup>  
全能の御手に

7

主よわれはなれと<sup>とも</sup>共にぞ  
十字架につけられぬ  
いまや古き我は死にて<sup>ふる われ</sup>  
なれが我に生きたもう  
おおわが<sup>うち</sup>内にて  
なが<sup>みむね な</sup>御旨を成したまえや。

8

主よ全きわが<sup>また すく</sup>救いこそ  
なが<sup>みわざ</sup>御業によるなり  
価なきわれも冠を<sup>あたい かむり</sup>  
なが御手より受くらん。<sup>う</sup>  
主よ永久にわれの<sup>とわ</sup>